

防災

能登半島地震をはじめ品を展開。流通の現場でも需要の高まりを実感しているようだ。国の試算では、南海トラフ地震が発生した場合、最大震度は7とセトポンベを使用し、大阪府や兵庫県た発電機「enest」が発生した。こうした経験から防災関連商品への関心が高まったとみている。

ポータブル電源など関心

南海トラフ地震などに備え

で津波が発生。和歌山 ar GEN1100 県では津波の高さが最大20層に達するといわれている。また、大阪府、兵庫 県、和歌山県の9割で 停電が発生すると予測 されている。能登半島 地震では停電が約1カ 月間続いた地域もあり、非常時の電源確保 が重要になる。

また、大阪府、兵庫 県、和歌山県の9割で 停電が発生すると予測 されている。能登半島 地震では停電が約1カ 月間続いた地域もあり、非常時の電源確保 が重要になる。

また、大阪府、兵庫 県、和歌山県の9割で 停電が発生すると予測 されている。能登半島 地震では停電が約1カ 月間続いた地域もあり、非常時の電源確保 が重要になる。

また、大阪府、兵庫 県、和歌山県の9割で 停電が発生すると予測 されている。能登半島 地震では停電が約1カ 月間続いた地域もあり、非常時の電源確保 が重要になる。

量販店では防災商品の需要の高まりを受け、品ぞろえを強化したり売り場を変更



また、大阪府、兵庫 県、和歌山県の9割で 停電が発生すると予測 されている。能登半島 地震では停電が約1カ 月間続いた地域もあり、非常時の電源確保 が重要になる。

エディオン京都四条 河原町店(京都市下京 区)でもポータブル電 源やモバイル 배터리 の引き合いが高まっ た。ポータブル電源 は、「在庫があれば購 入したい」という来店 客もおり、20万、30万 円ほどの高額商品も売 れた。 南海トラフ地震臨時 情報が発表された後に は商品を見に来る客が 増えるともみて、ポータ ブル電源売り場の配置 を変更した。それまで は一つの什器(じゅう き)にまとめて展示し ていたが、二つに分け て間に通路を作ること で、来店客が1カ所に 集中しないように工夫 した。